

セルフモニタリング報告書（令和6年度分）

令和 7 年 4 月 30 日

施設名：東開文化交流サロン
 指定管理者名：Social Library Platform東開町
 所管課名：福祉部 総合福祉課

モニタリング項目	指定管理者コメント	自己評価				
1 事業計画の達成度						
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	計画に基づき実施しました。	A	B	C	D	E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	来館者数、貸館利用数など、目標値よりも上振れる結果となり達成出来ました。	A	B	C	D	E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか（目標値を設定していないその他の施設）。		-	-	-	-	-
自主事業は計画どおり行われたか。	計画通り実施することが出来ました。	A	B	C	D	E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	ボランティア、町内会、学校関係者、他関係機関などと適宜協働・連携を図ることが出来ました。	A	B	C	D	E
2. 利用者の満足度						
利用者の満足が得られているか。	アンケート結果や来館者からお声がけいただいた内容等も含め、館そのものや職員、実施事業などに対して高い満足度を得ることが出来ました。	A	B	C	D	E

利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	アンケートの実施や意見箱の設置をすることで、対面では言いにくい内容の把握に努めました。また来館者からの直接の意見や要望等を把握できるよう、常に見守り支援員が気を配り対応することが出来ました。	A	B	C	D	E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	見守り支援員が常時気を配りながら利用者対応しています。また館内意見箱の内容を定期的に確認し、即時対応できるものは改善し、検討が必要なものは関係各所との協議検討を行い対応しています。	A	B	C	D	E
3 管理運営の効率性						
経費の低減が図られているか。またその取組は十分なか。	商品購入時は可能な限り見積、価格比較を行い域内での購入を基本としながら、市外やインターネット上での購入も視野に入れ経費削減に努めました。また、日照時間に合わせたライト点灯時間なども変更し、節約に努めました。	A	B	C	D	E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	可能な限り、市内複数業者での見積比較を行うことによって、適切な経費となるよう努めました。	A	B	C	D	E
収入増加のための取組はされているか。	HP上での貸館状況公開やサイネージ、SNSでのイベント周知による来館者増加、カフェイベント開催によるカフェ利用者増加を見込みながら、利便性向上等に努めました。	A	B	C	D	E
4 適正な管理運営						
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	各種研修（虐待防止、救命救急、情報セキュリティ等）を実施し、職員全体の知識向上等に取り組みました。	A	B	C	D	E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	避難訓練の実施や館内での不穏者、不審者、その他特別な配慮が必要な方に対する不測の事態への対処対応等について研修を実施。また来館者からのご意見があった際には、適宜検討と改善を行うことが出来ました。	A	B	C	D	E
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	適正に配置しています。突発的事由による欠勤等についても、可能な限り知りえた時点で体制等苦見直しなどの調整を行い対応することが出来ました。	適		不適		

施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む。）。	問い合わせや利用申請の際には、条例や基準に則り適切に処理し適正な使用、平等な利用を実施することが出来ました。	適				不適
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	是正措置を取り、チェックシート項目も遵守し、以後適正な管理に努めている。	適				不適
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	複数体制で管理し、適正かつ適切な処理を行いました。	適				不適
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検及び保守については、委託契約業者との連絡調整等を行い、適正に実施しました。	適				不適
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	備品等について破損が生じた場合、所管課との共有や業者への連絡を行い、状況改善に努めました。	適				不適
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	事業計画を基に必要研修の実施やコンプライアンスを遵守した管理運営を行いました。	適				不適
5 地域貢献						
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	9割を超える職員が苫小牧在住者であり、資材や再委託等については地元業者を中心に委託している。また町内会と協働したイベントを行い、ボランティア参加も促していくことが出来ました。	A	B	C	D	E

A：目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。

B：目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。

C：概ね目標、事業計画どおり行われており、管理運営も適正で、特段問題は見られない。

D：目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。

E：目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

総合評価



【★の数が5～0の6段階評価で評価しています。】

〈 4 適正な管理運営において不適がある場合、その理由と今後の対応について 〉

指定管理者の自己評価（全体を通して）

【全体評価】

概ね事業計画に沿った管理運営を行うことが出来ました。施設利用者数や利用率などは目標値を超えることができ、アンケート結果からも高い満足度を得られました。特に図書貸出人数は前年度を2500人以上上回り10,500人を超える方にご利用いただき、貸出冊数は前年度を14,000冊以上上回る50,500冊を超える貸出しとなりました。アンケートや日々来館者の方からいただく言葉では、職員との安心した関りや気配り心配りが一定程度の評価を受けたと自負しています。

自主事業としては、当サロン内で障害者総合支援法に基づく就労継続支援（A型・B型）事業を運営しており、病気や障害などさまざまな生きづらさを抱えた方が働く姿が地域の中で可視化され、サロンコンセプトでもある多様性の理解と寛容な心を育むことを目指しています。令和6年度末ではA型利用契約者7名延利用1421人、B型利用者契約者4名延利用430人の方に対して、サロンにて就労支援を提供することが出来ました。また、サロン外での企業活動や地域活動を進めていくため、苫小牧市内の企業との障害者雇用や委託作業の協議検討のために訪問し実際に意見交換を行うことができ、体験などについて具体的な話を進めることが出来ました。また、苫小牧市近郊農家への施設外就労をトライアルで行い、施設内にとどまらない展開について動くことができました。

【特筆すべき成果】 図書利用者などの増加 / 見守り支援員による声掛けや地域活動コーディネート

・図書貸出人数は前年度を2500人以上上回り10,500人を超える方にご利用いただき、貸出冊数は前年度を14,000冊以上上回る50,500冊を超える貸出しとなりました。アンケートや日々来館者の方からいただく言葉では、職員との安心した関りや気配り心配りが一定程度の評価を受けたと感じています。

・引き続き来館する地域住民への声掛けから始まり丁寧に関係性構築を進め、サロンサポーター登録を行い、サロンでのイベント開催の中心となってもらうなど、地域住民が主体的に多世代との交流を企画し実行する活動コーディネートを行うことができました。また多様な世代の多様な事情を抱える人に対して、傾聴や必要な情報提供、他機関協働も実施しています。

【課題】

○カフェ、夜間の来館者や貸館利用の向上

昨今の資材高騰の煽りもあり、カフェの運営が厳しい状況となっています。目標の見直しに加え、来館者増によるカフェ利用の促進を図ることや、オープン当初から価格改定していない状況についても今一度見直し、適正な価格を検討するなど向上の余地を残しています。

夜間については、開所時間延長の声があるなど夜間利用に期待する声がある一方、開所時間延長しても利用が伸びない現状もあるため、改めて周知方法を再検討することと、図書室に加えて各貸室などを活用した各種イベントの開催などを含めて利用向上に努めてまいります。